BMS 4月例会のご案内

——125th Bungeiken Metropolis Seminar—

2026年4月5日(日)9:30～12:30

大東文化会館 K404研修室（オンライン併用）

東武東上線池袋駅より約 15 分、「東武練馬」駅下車歩4分（大東文化大学板橋キャンパスとお間違いのないように。4P に経路図掲載）

テーマ：4月教材、これだけはおさえよう

「ふきのとう」（工藤直子／光村図書出版 2 年）

報告：松野真帆さん（神奈川文芸研　神奈川学園精華小学校）

「白いぼうし」（あまんきみこ／教育出版ほか 4 年）

報告：上西信夫（東京文芸研　元千葉県小学校）

「銀色の裏地」（石井睦美／光村図書出版 5 年）

報告：山中吾郎さん（東京文芸研　大東文化大）

参加申込（ハイブリッド方式）リアル参加は先着40名とさせていただきます。申し込みについては、リアル参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。現地参加、オンライン参加共 500 円

参加申し込みは　https://bms202604-bungei-tokyo.peatix.com/ から
一週間前には申し込みができるように準備します。問い合わせは事務局・西さんまで

文芸研東京学習会（BMS）連絡先：上西　✉→ nobu.uenishi@outlook.jp

次頁から信天翁（アホウドリ）通信 ⇩

文芸研東京学習会（BMS4月例会）のご案内

―125th　Bungeiken　Metropolis　Seminar―

📷今年も訪れようと思っている幸手市権現堂堤公園

🌷3 月 1 日（日）BMS3 月例会当日朝 6 時に事務局・西さんから「東上線が止まっています。どうしますか。」と電話。調べると信号機の不具合で上板橋～川越市まで不通とのこと。大東文化会館最寄り駅・東武練馬駅の一駅手前でストップ。学習会場から一番遠い西さんはオンライン対応の現地準備があり、出発の時刻が迫っている。西さん、山中吾郎さん、レポータの秋山さんと相談し急遽完全オンラインに変更。秋山さん、西さんに準備していただいた現地参加者用の資料が無駄になって申し訳なかったけれど、迅速で的確な西さんの働きで出席者への URL 等の配信・告知等も漏れなく行われ、その実務能力の高さに改めて感服した次第。

🌷3 月例会のメイン報告は**秋山亮介**さん（千葉文芸研・流山市小学校）の「**モチモチの木**」（斉藤隆介・教育出版３年ほか）。今夏大阪大会での報告を視野に入れての実践を報告していただいた。インフルエンザが流行し、秋山さん自身も罹患し１週間近く出勤できず、授業は 3 場面までの報告でした。今回の秋山さんのレポート報告は、前回 22 年の実践をふまえ、特に山場 4 場面の〈「モチモチの木に灯がついている！」〉の豆太・医者様の科白を受けて、5 場面冒頭の逆接〈でも〉の押さえ、じさまの科白〈勇気のある子ども<u>だったんだ</u>からな〉の解釈の秀抜さが際立っていました。（直接的には霜月二十日の晩の豆太の行動を指

すが、秋山さんは「勇気のある子どもになった」ではなく〈だった〉の過去形に注目し、じさまの慧眼と読む解釈）また、1 場面最後のおとうやじさまの勇気ある姿は、4 場面の〈なきなき走〉る豆太の姿と響き合い、〈やさしさ〉（愛）が〈勇気〉ある行動として顕在化する――形象の相関・全一性を読むことの重要さが確認できました。また、5 場面最後の一文〈――それでも……しょんべんに起こしたとさ。〉の《虚構の方法》としての構成の問題と典型化にも言及し、「あなたは、あなたで大丈夫」というメッセージとともに、仏教哲学の「諸法実相」という見方・考え方は現状を無批判に追認することではなく、条件（縁）によってどの子も変革の可能性を持っていると解した方が広がりが出るという指摘もありました。上西の詩「生きる」（谷川俊太郎　光村図書出版６年）は資料提供という形で終わりましたので、質問・ご意見がありましたら上西までメールをお願いします。

🌷新年度の４月例会は欲張って４・５月教材３本立ての内容を計画しました。「**ふきのとう**」（工藤直子　光村図書出版２年）を**松野真帆**さん（神奈川文芸研　神奈川学園精華小学校）に、「**銀色の裏地**」（光村図書出版５年）を**山中吾郎**さん（東京文芸研　大東文化大）にお願いしました。「**白いぼうし**」（あまんきみこ　教育出版・光村図書出版４年））は**上西信夫**（東京文芸研　元千葉県小学校）が報告します。「国語っておもしろい！」と子どもたちも教師も実感できる――深い学びの授業化のポイントが学べる学習会内容です。

🌷４月例会は４月５日（日）９時 30 分から**大東文化会館**にてハイブリッド方式で行いますが、リアル参加は**先着40 名**とさせていただきます。申し込みについては、リアル参加の方もオンライン参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。皆様の参加（特に現地参加）をお待ちしています。

記

1．期　日　　２０２６年４月５日（日）９時 30 分～１２時 30 分

現地参加＋オンライン参加可のハイブリッド方式

2．会　場　　大東文化会館　K404 研修室（東武東上線池袋駅より約 15 分「東武練馬」駅下車歩４分（大東文化大学板橋キャンパスとお間違いのないように）

3．内　容　　新学期４月教材、これだけはおさえよう

報告①：「ふきのとう」（工藤直子／光村２年）

報告：**松野真帆**さん（神奈川文芸研　神奈川学園精華小学校）

報告②：「白いぼうし」（あまんきみこ／光村・教出４年）

報告：**上西信夫**（東京文芸研　元千葉県小学校）

報告③：「銀色の裏地」（石井睦美／光村５年）

報告：**山中吾郎**さん（東京文芸研　大東文化大）

4．主催・参加費・申し込み　東京文芸研／現地参加・オンライン参加共５００円

参加申し込みは　https://bms202604-bungei-tokyo.peatix.com/　から

（一週間前には申し込みができるように準備をします。問い合わせ　事務局・西さん）

以上

🌷例会後、例会で扱う教材以外の個別の相談にも応じています。事前に連絡をください。カンとセンスとブームの国語の授業からの脱却、教科書会社の指導書・赤刷り・ワークシートに頼らない授業構想力の獲得――視点・形象の相関をふまえた切実な共体験の形成、文芸体験の思想化・典型化の授業づくりをめざします。23 年夏の山口大会、24 年の徳島大会、25 年の千葉大会、各地の「国語の教室」や講座で初めて文芸研の理論と実践に接し興味をもたれた方、国語の授業づくりに困っている方、深い学びをと願っている方、教職をめざしている方、青年学校受講生の方、各地のサークル例会が開催困難なサークル会員の方々……の参加をお待ちしています。

例会会場案内　　🐰大東文化大・板橋キャンパスとお間違いなく

大東文化会館へのアクセス：池袋駅より**東武東上線各停**で７駅（約 15 分）、**東武練馬駅**（大東文化大学前）下車。どの出口からも徒歩 3～4 分／学習会会場は３階か 4 階研修室（40 人収容）、9 時から 13 時まで借りています。エデュカス東京・麹町より大東文化会館までの所要時間がかかる方もいると思いますが、引き続き現地参加にご協力ください）

インフォメーション

▼文芸研 60 回記念大会（大阪大会）プレ・オンラインセミナー特別企画　３月 21 日（土）20 時～21 時 30 分　特別企画④「自ら変革主体となる」無料　講師：徳水博志さん（宮城文芸研）

▼今年度前期の BMS 例会予定（原則第１日曜日）９時 30 分～12 時 30 分　大東文化会館（東武練馬駅下車）時間・会場は同じ

・4月5日（日）９時 30 分～12 時 30 分　大東文化会館

・5月２日（土）　６月７日（日）　７月５日（日）　８月１・２日　大阪大会

▼東京文芸研大阪大会レポート検討会　日時は後日連絡します。オンライン

▼文芸研春の実践研　５月９・10 日　神戸市中央区文化センター　大阪大会分科会全レポート検討／代表者会議

▽**「文芸教育」**（西郷竹彦創刊・文芸研編・新読書社刊）**最新 138号　特集「教科書の詩教材を豊かに深く授業する」**／137 号　特集「国語の授業で平和学習を／136 号特集「今こそ平和教育を―戦後 80 年の節目に」１700 円＋税　学習会場でも用意しています。年間購読をお願いします。

▽**光村版・新教科書指導ハンドブック**（学年別）発売中／新読書社より各学年 1700円＋税　セット割引有／この学年でどんな〈ものの見方・考え方〉を育てるかの観点で編集

▽**文芸研授業シリーズ**好評刊行中！　第１弾**「たぬきの糸車」**（新読書社）・第２弾**「一つの花」**・第３弾**「おおきなかぶ」**・第４弾**「わらぐつの中の神様」**・第５弾**新刊「サーカスのライオン」**／教材分析と授業構想・授業記録がこの一冊に。板書や発問が参考にできて、使いやすい・わかりやすいと好評。入門書として最適です。各 1000円＋税

文芸研授業シリーズ　新読書社刊　1000 円＋税

「文芸教育」新読書社刊　1700 円＋税

「朝日歌壇・俳壇」より　子ども・学校・ことば・世相・戦争を詠む

メビウスの輪のことを考えながら手綱（たづな）こんにゃく作り手伝う（奈良／山添聡介）こんにゃくに切り込みを入れてねじり馬を操る手綱に見立てた和食の飾り切り。お節料理の手伝いか。自己を律する・縁を結ぶの意味が込められている

「栄養のあるもの食べて」と連絡が来るときいつも食べてるラーメン（横浜／上野りな）

大そうじわたしの味方お母さん（岐阜／こうけつゆい子）

彼氏とは週一ペースで会ってますサークルみたいな頻度でいいね（流山／汐入音佳）

山茶花（さざんか）や最近走っているばかり（成田／かとうゆみ）「焚き火」の〈あたろうかあたろうよ

／相談しながら歩いてる〉のではなく忙しいのだ

夕方にほしがきとりこむおてつだい（越谷／宮津亜紀）

自衛官の彼とデートの待ち合わせ今日の時間はヒトフタマルマル（相模原／榎本ハナ）12時

初めてのスキー合宿何回もキャリーの荷物を確認する夜（奈良／山添葵）

「健康に育ててくれてありがとう」除雪しながら泣かせないでよ（富山／松田由紀子）

家中をピカピカにして父は待つコーヒー豆を挽きながら待つ（富山／松田梨子）

姉は笑い母と私が泣いちゃった「娘さんを」の言葉を聞いて（富山／松田わこ）三首併せて読めば状況は自ずと明らかと註。　小中学生の頃から松田家の歌を追いかけてきた一人として、梨子ちゃん、おめでとう！松田家の皆さんおめでとう❣

戦なき国に育ちし少年の投げるボールの放物線は（安城／唐澤うに）

ずるいよね「母さんいつもありがとう」誰も消せないそんな落書き（久留米／塚本恭子）

「ばばあ」から並びをかえたそれだけで我呼ぶ孫の「ばあば」はやさしい（栃木県／永森朋子）「じじい」が「じいじ」も同じアナグラム。語順一つを変えるだけでがらりとイメージが違う。脳トレに最適

給食もない冬休み子ども食堂に賑わいの増す慶事のごとく（千葉／岡部統子）

看病も介護もなしで逝きし母そんなにわたしは頼りなかった（前橋／町田香）

忘れられ砂にまみれたシャベルにはきちんと書かれた子どもの名前（横浜／桜田幸子）

保育園ごっこをすれば子等はみな保母さん役に立候補する（横浜／毛涯明子）

雪富士はまた雪積みて保育器に一糸まとはぬ小さなあくび（富士宮／高村富士郎）

東京は冬の青空布団干し雪国に住む母を思いて（東京都／丸茂信行）豪雪の故郷の父母を詠む歌多し

「無理するな元気なうちに逃げてこい」豪雪気遣う息子の電話（北秋田／高橋充）

東京に来たらと息子言うけれど雪から家を守らにゃならん（山形／佐藤清光）

にょっきりと手足寒々突き出してあと三月着る六年生の服（羽咋／北野みや子）

腕時計、カイロ、お守り、受験票、また確認し子を送りだす（奈良／山添聖子）聡介君も中学受験

子と二人頷き合って Enter を押す朝九時の合格発表（奈良／山添聖子）翌週の入選歌。聡介君もきっと合格だろう。すごいぞ山添姉弟、お母さん。

叱っても叱りきれない母親に「ママ大好き」と孫が反撃（羽生／本間正実）

☆戦争を起こさぬひとに入れたしと投票にゆく受験生の子（和泉／星田美紀）

赤電話電報夜汽車木賃宿　清張読みつつ昭和を旅す（松山／三島誠以知）

被災地のなにごともなき元日にゆっくり味わう小半（こなかな）の酒（石川県／瀧上裕幸）能登半島地震から２年。小半＝２合５勺。投稿氏はいつも能登半島地震と豪雨を詠む歌人。次の２首も能登半島地震関連

廃線が能登の過疎化に拍車かけ地震と豪雨が追い打ちかける（石川県／瀧上裕幸）

ここが居間ここが玄関きゅきゅきゅと長靴に踏む更地の雪を（羽咋／北野みや子）「震災に挽（も）げたる腕を足許に冬の桜を睨（にら）める仁王」を以前に詠んでいる

五番街のマリーを歌う和尚いて山のみ寺はニコニコうふふ（静岡／首藤紘一郎）うふふは稔典さん風

新潟の冬は雨かんむりのそら　英ヨ田散云日替わりに（新潟／太田千鶴子）エィ（霙）・ヨ（雪）・

デン（雷）・サン（霰）・ウン（雲）がくり返される雪国新潟の冬の空

猛獣がおいしい獲物を狙うごと大きい国ほど領土欲しがる（敦賀／竹内展子）米露中

さまざまな屋台の匂いとにぎわいと猿沢池をぐるりと囲む（奈良／山添聖子）興福寺前の猿沢の池。東向商店街・三条通り・餅飯殿センター街と賑わう

上野駅十五番線の啄木碑会ひにゆきたくなるときのあり（東京都／唐木よし子）有名な啄木の歌碑「ふるさとの訛りなつかし停車場の人ごみの中にそを聴きにゆく」階層構造の１５番線は車止めがあり行き止まり

鉛筆を穴に差し入れ緩み取り聞いた昭和のカセットテープ（観音寺／篠原俊則）

モナ・リザのジグソーパズルはめゆけばわれも謎めくピースの一つ（仙台／沼沢修）

年賀状、墓に実家に店じまい、皆んなが日本を片付けだした（横浜／西前敦子）

押しボタン式の信号青になりゆっくり渡るモーゼのごとく（横浜／杉本恭子）

与那国にバイリンガルの人のゐて風語、馬語を自在に熟（こな）す（長野県／千葉俊彦）

あがるだけ揚がりしづかな凧となる（東大阪／根来譲二）

たくましき麦の芽四年ウクライナ（さいたま／関根道豊）2022.2.24 ロシアのウクライナ侵攻から４年。抵抗し続けるウクライナの人々を麥に見立てての応援歌

王様はけふも裸や虎落笛（もがりぶえ）（天童／今田進）そしてアメリカの―

急逝の友の癖字の賀状来る（川崎／古田昇）

ポピュリズムの言説に凭（よ）りかかられてすこしづつ液化してゆくわれら（西条／村上敏之）「革命歌作詞家に凭りかかられてすこしづつ液化してゆくピアノ（塚本邦雄」」の本歌取りと註

朝起きて蛇口ひねって薬飲むどちらもないのだ見殺しのガザ（大和郡山／四方護）

ノーベルも呆れているだろうマチャドよりメダル贈られ喜ぶ人に（栃木県／川崎利夫）

平和賞他者の貰いしものでよい煮ても焼いても食えない男（船橋／佐々木美彌子）

御鷹巣の犠牲者五百余の靴を並べたニュース・キャスターが逝く（名古屋／清水芳洞）久米宏

☆お花見はだれとでも行く観梅は親しき人と静かに歩む（大阪／岡洵子）

子が親を選べたら「無期懲役」にならぬ人生歩めただろうに（佐久／五十嵐芳孝）山上徹也被告

朝起きて隣りの人が死んでいたしれだけ語りし祖父のシベリア（横浜／佐藤仁志）

会議中にノンアルコールビール飲む新入社員ついにあらわる（上尾／関根裕治）

戦争をひとつふたつと手毬唄（久留米／塚本恭子）

天に放屁地に放尿老（おい）の春（大野城／野分のあ）

米国にトランプのゐる寒さかな（世田谷／野上卓）

失職にもろ手を挙げて歓喜する人が居るらし国会議事堂（宇陀／赤井友洸）

どの党も減税を言う選挙戦我らを甘く見てはいないか（観音寺／篠原俊則）

わが国を五十二番目の州にすると言ってくれれば目が覚めるのに（半田／石橋美津子）

小文字一つ間違えられぬメールなり文字汚くも届く郵便（鳥取／山本憲二郎）

ハワイからモンゴルそしてウクライナ丸き土俵は地球をつなぐ（豊川／石黒永一）

安青錦国を背負っているなんて言われなくなる日が来るといい（出雲／塩田直也）

満面の笑みは見られず安青錦心よぎるや戦火の母国（横浜／一石浩司）

骨組みに政治家の顔設置され選挙権のない僕は見ている（北本／スピガ・ファブリツィオ）
選挙掲示板を見入る、外国人排斥ヘイト叫ぶ候補者もあり
巻貝の螺旋を解いてゆくようにぽつりぽつりと告げた身の上（大阪／栗子守熊）
椅子振子団子帷子（かたびら）螺子（ねじ）囃子（はやし）これだけあっても少子化進む（八千代／井上正則）
日本初の女性首相は支持を得て消えゆく炭火のごとき九条（福岡／夏野いづみ）熾火となって
アメリカにメリット無ければ不要と言う国際法も平和の義務も（東京都／北條忠政）オレが法律
新聞も読まずにスマホで世の動き知ったつもりの若者の未来（横浜／坪沼稔）衆院選の結果
「色あせぬ名局指せた」ひふみんは引退の時強き語りき（横浜／滝妙子）
真っ白な龍の背中や寒波来る（小山／松本喜雄）
なまめかし肌を見せ合ふ大根（だいこ）かな（横浜／菅沼葉二）
飴ほしい？みたいに訊くなインタビュアー「少子化ですが、子どもほしい？」（流山／汐入音佳）
しんしんと降る雪恋し暴風とともに真冬がどかどかと来た（酒田／冨田光子）声喩の妙
早暁を門に三尺の雪を掻（か）く老いひとり住む生きの証（あかし）に（大館／小林鐐悦）
回文は亡母（はは）お手の物「真鯖（まさば）食べた婆様（ばさま）」思い出し身をほぐす（大仙／佐々木律成）
欲しいならグリーンランドにしてやろうとアメリカ襲う強烈寒波（鎌倉／小笹岐美子）
一二三（ひふみん）も天に召されて茂吉翁と楽しみゐるや鰻友（うなとも）として（東京都／上田国博）ひふみんの勝負飯はいつも鰻重。斎藤茂吉の鰻好きも有名。
「鬼は外」が先か「福は内」が先か揉めて日系人らに時経（た）つ（アメリカ／ダンバー悦子）
琵琶湖から春が流れるようにして疎水の花は開き始める（京都／美王孝文）
アメリカは自由と民主主義の国「だった」と書かれる孫の教科書（竹田／伊藤信一郎）
抜けがけのような選挙はしないだろう本当に信を問うつもりなら（佐渡／藍原秋子）
白雪を冠（かぶ）る墓石のならびおりしんしんしんと近づくいくさ（神戸／松本淳一）
今日もまた飲んでラーメン午前二時規則正しいこれも生活（大阪／渡辺たかき）
夫（つま）の字をひっくりかえせば￥だけど振ってもお金はでない（西条／丹佳子）
蝋梅を老梅と書き狼狽す（川越／吉川清子）
ニッポンのささくれ立つや兜太の忌（横浜／大久保秀美）２月２０日兜太の忌　梅咲いて庭中に青鮫が来ている／生年は一九一九（いっくいっく）や兜太の忌　生年は 1919 年 9 月 23 日―朝日俳壇
トーストにバターをぬれば春の色（杉並区／青木公正）
胸の内語る心は半熟の卵の殻をそっと剥（む）くよう（ひたちなか／安澤美幸）
白銀の壁を蹴ってはキラキラのネームの選手が宙に舞いたり（春日／藤井量子）ミラノ・コルティナ冬季五輪でスノーボード種目で大活躍
知らぬ間に雪掻きしてくれし人ありき老いの身に浸む人の情けよ（つくば／和田瑠璃）
めぐみさんの母堂九十歳の美しさ悲しき極みを長く耐えつつ（大分／岩永知子）
きさらぎの川辺に拾うひとひらの白鳥の羽毛そのピアニッシモ（福島／美原凍子）

日本一が福島県にありますよ原発廃炉がずらっと十基（郡山／寺田秀雄）
雨不足で底が見えたる宮ヶ瀬ダム四十年前の道路が現はる（横浜／松村千津子）
☆普通の国になりたくなどなし戦（いくさ）せぬ特別な国であり続けたし（沼津／山本昌代）
保守を押す若人ふゆる此の国の今此の時に吾は老いゆく（東京都／斑山羊）
杣人（そまびと）が熊を崇めて熊もまた人を怖るる昔思へる（相馬／根岸浩一）杣人は樵（きこり）
声は風　人の六割水らしく君に揺らめく心の湖面（筑後／近藤史紀）
そのひとのどこが好きだかわからずに全部が好きと言えるのが恋（札幌／住吉和歌子）
民意とはかくも鋭角に曲がるのか瞬きもせず朝刊を見る（和歌山／貴志眞澄）
常に使ふシルバーカーも氷にすべり盛岡の路選挙を拒む（盛岡／堀米公子）
明るすぎる日曜を終えて軍服はマクドナルドのロッカーにある（甲府／村崎残滓）
壊れゆくこの国の民さむかりき（川口／青柳悠）
選挙では得られぬ平和痛感す（栃木県壬生町／あらゐひとし）

信天翁（アホウドリ）の身辺雑感（BMS4月例会案内）

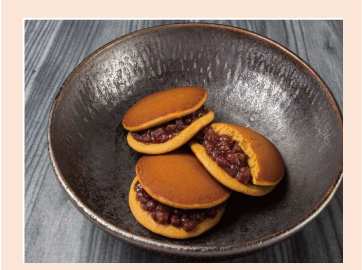
🌸今年１月も小田原市にある私学・旭丘高校全学教育研究集会から声を掛けていただいた。今年の国語の授業展開は漱石の「こころ」であった。論理国語を選択する学校が多いなか、文学でも論理的思考力を育むことができるという立場で定番の「山月記」「羅生門」「こころ」を読み合う授業を続けている。リライト等の言語活動で生徒の学習意欲を引き出そうとする授業が多いが、高校の文学の授業こそ《虚構の方法》を学び、《典型をめざす読み》が望まれる。手紙形式のこと、恋愛におけるエゴイズムの問題、〈先生〉と〈私〉の関係、〈先生〉と妻〈静〉の生き方への批評など問題にしたいところである。
🌸２月７日から８日の衆院選の投票日の日、東京も雪だった。自民（＋維新）の圧勝が予想され、結果もその通りになってしまった。テレビの開票特番を見る気もしなくて早々に眠る。しかし寝床の中で、いよいよ憲法が危ないと思うと眠りは浅く何度も目をさます。してやったりとほくそ笑む〈オオコオモリ〉（「ピカソの鳩になって」栗原貞子）の顔が思い浮かぶ。日本人は熱しやすく冷めやすい民族だと言われるがつくづくそう思う。そのことを「劣等民族」発言をしてテレビから干された評論家がいたが、この現象を目の当たりにするとその評論家を擁護したくもなる。帝国主義・覇権主義的な大国の横暴に世界全体が右傾化しつつあるが、日本にもその波が押し寄せてきたと捉えればいいのか。SNSを駆使した選挙戦術と「世論」誘導。コモンセンスだった反戦平和は通用しないのか。高市内閣支持率 70%とか――私の周りには支持する人はいないのに…。今年の５月３日の憲法集会には是が非でも参加しないといけない。

普通の国になりたくなどなし戦（いくさ）せぬ特別な国であり続けたし（沼津／山本昌代）
保守を押す若人ふゆる此の国の今此の時に吾は老いゆく（東京都／斑山羊）
民意とはかくも鋭角に曲がるのか瞬きもせず朝刊を見る（和歌山／貴志眞澄）
常に使ふシルバーカーも氷にすべり盛岡の路選挙を拒む（盛岡／堀米公子）

戦争を起こさぬひとに入れたしと投票にゆく受験生の子（和泉／星田美紀）
壊れゆくこの国の民さむかりき（川口／青柳悠）
選挙では得られぬ平和痛感す（栃木県／あらゐひとし）　（朝日歌壇･俳壇より）

🌸選挙結果に気が滅入る日々。カミさんはもっとがっかりしてニュースの度に溜息を漏らす。気分転換に今年は例年よりは観梅の回数が増えた。寒気に凛と咲く梅は今の状況に希望を抱かせてくれると感じるからだ。羽根木公園には２時間・１万５千歩歩いて５回も出かけた。曽我梅林（松田町河津桜の花見も兼ねて。もちろん丹沢の地酒・松美酉まつみどりを蔵元で購入）、府中郷土の森公園など。３ 月中旬には高尾梅郷に今年も出かけよう。

📷羽根木公園／隣接する梅丘図書館が立て替えられて、閲覧しながらコーヒーを飲んだり、軽食を食べたりできるスタバ風の洒落た図書館になった。（２月にテレ東「アド街ック天国」でも放映された）



📷多摩川近くの府中市郷土の森公園／府中・青木屋の「黒糖どら焼き日々是くろどら」

📷小田原市曽我梅林。白加賀が咲きほこり微かに匂う。減塩梅干と蜜柑を購入

お花見はだれとでも行く観梅は親しき人と静かに歩む（大阪／岡洵子　朝日歌壇）

📷松田町の河津桜

🌸世田谷区には河川を暗渠にして、その跡に緑道を整備した烏山川緑道・北沢川緑道などがいくつかあり格好のウォーキングコースだ。和歌山の知人から美味しい葉付きデコポンをたくさんいただき、暖かくもなってきたので駒場に住む長女におすそ分けを届けがてら北沢川緑道を歩いた。北沢川緑道は小さな潺（せせらぎ）も併設し歩いていて気持ちのいい緑道だ。ユキヤナギの小さな花もモクレンの白い花もマンサクも今年初めて見た。アメンボウも現れた。小シラサギがじっと獲物を待っている。北沢川緑道付近は「下北沢文士町」としても有名。（尾崎士郎の駒込文士村や芥川龍之介の田端文士村とともに知られている）緑道のあちらこちらに横光利一・萩原朔太郎・坂口安吾・三好達治・斎藤茂吉らの顕彰碑が建っていてそれらを読むのも楽しい。小田急線と井の頭線が交差する下北沢は、今でこそ演劇・音楽・古着・カレーが有名で賑わっているが、当時は今と違って新宿・渋谷とは程よく離れていて都鄙境だったのだろう。

モクレン

（詳しくは「下北沢文士町文化地図」（世田谷区作成）で検索してください。）

オオイヌノフグリ

ユキヤナギ

ミモザ

マンサク

第６０回記念
文芸研全国大会(大阪)

大会内容
１日目
基調提案
実践報告
文化行事　　落語
記念講演１　くすのき　しげのりさん
記念講演２　鈴木　大裕さん

絵本作家
くすのき　しげのりさん

２日目
学年別分科会　７分科会
領域別分科会　７分科会

in 枚方市

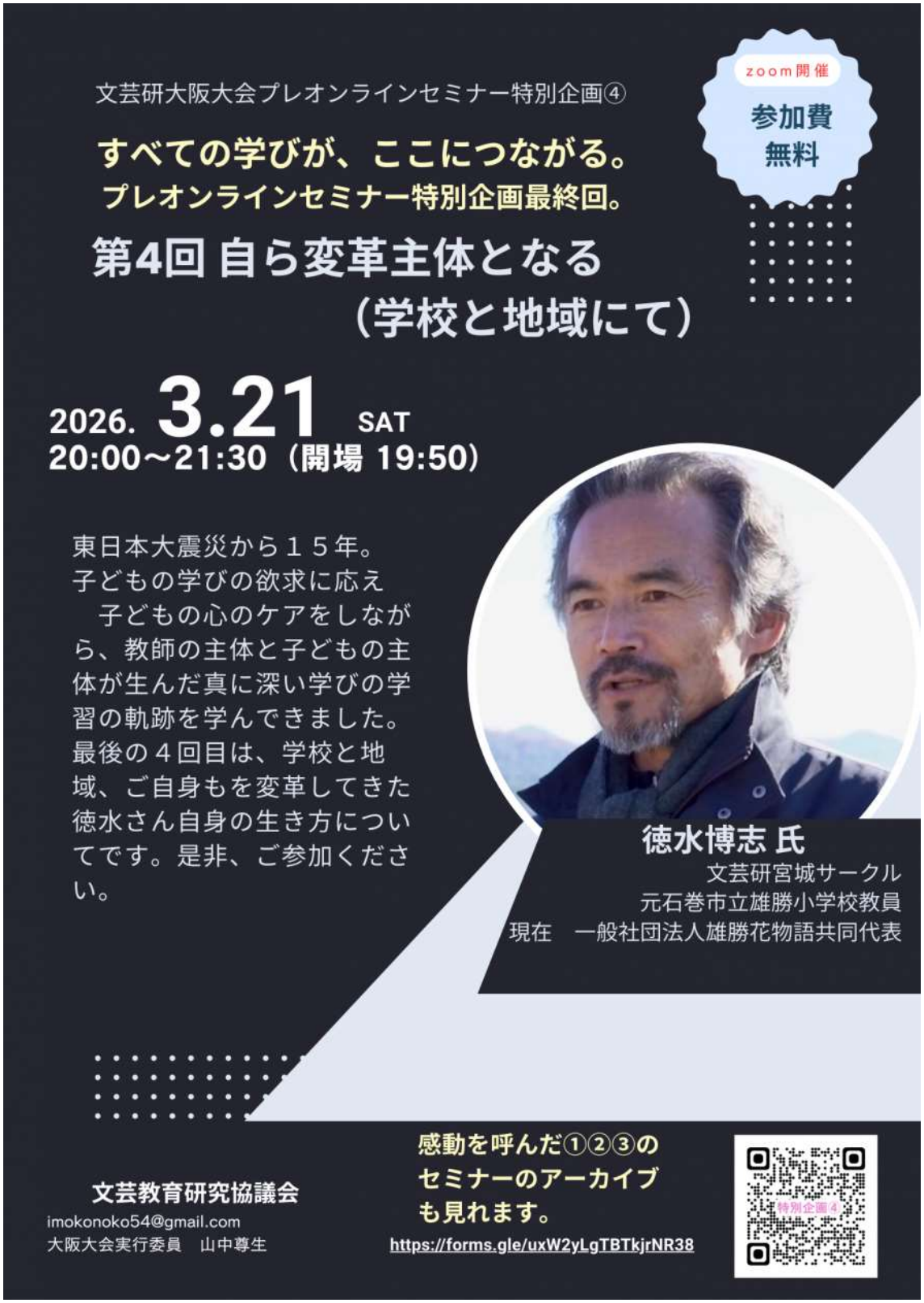
教育研究者・高知県土佐町議員
鈴木　大裕さん

大会テーマ
《ものの見方・考え方》を育てる国語教育
―真に深い学びを求めて―

2026年
8月1（土）2（日）

大会サポーターに登録して、学びになるオンラインセミナーやお得な情報を手に入れてください。→ＱＲコードより

◆ホテルの予約を済ませましたか？京阪線沿線（京都―淀屋橋）が会場の枚方市に便利です。



◆「質の高い教師」（福井雅英　新日本出版社 2025）で紹介された徳水さんの連続講座の最終回。

引き続き定期購読をお願いします。1700 円＋税
購入は直接新読書社へ。学習会でも用意しています。
http://shindokusho.jp/ tel.03-3814-6791 fax.03-3814-3097

◆事務局・西さんより連絡がありましたら、26 年度の会費＋「文芸教育」誌の年間購読料（138・139・140 号）の振り込みをお願いします。

文芸研東京学習会（BMS）連絡先　上西信夫
→ nobu.uenishi@outlook.jp　SMS→ 080-3253-4742